

BUSINESS

リーダーになる!

実践する上司学。  
嶋津良智による、よきリーダー、上司になるための必読コラム。



嶋津良智 ■リーダーズアカデミー学長。早稲田大学講師。大学卒業後、IT系ベンチャー企業に入社、トップセールスマンとなり、24歳で最年少営業部長に就任。1993年に独立、起業。94年に共同で情報通信機器販売の新会社を設立。2004年にIPOを果たす。05年に教育機関、「リーダーズアカデミー」を設立。

第73回 金曜日の使い方

1週間の弾みをつけるためにも月曜日をどうスタートさせるかが大切です。金曜日のうちに月曜日にやるべきことを考えましょう。

前回、「1日の始まりは朝。朝どうスタートを切るかで、1日の質が左右する」という話をしました。今回は1週間の始まりの話。大抵の会社では、月曜日ですよね。週の始まりである月曜日にスタートダッシュできるよう、大切にすることも効率よく仕事するのに有効です。

しかし、残念ながら月曜日にやる気が満ちあふれ、ポジティブな姿勢で出社してくる人というのは少ないものです。サラリーマンなら誰もが経験していると思いますが、憂うつな思いで、「また、1週間が始まるのかあ」と考えている人のほうが多いのが現実です。そうした状態で出社してきて、「今日の予定は…」今週の予定は…「今週の目標は…」と考えているだけ、月曜日の午前中はあつという間に終わってしまっています。そうならないために、わたしは「月曜日を大切にしよう」と言い続けて

きました。

月曜日の段取り 金曜日に決める

具体的は何をするかと言うと、金曜日のうちに月曜日の朝一番に何をするかを決めておくのです。そうすれば、出社したときに、難しいこと、余計なことを何も考えなくて済む、その仕事に入っていくけます。この方法は、気分的にもずいぶんと楽になるので、本当にオススメです。

特に、営業をやっている人なら、金曜日のうちに月曜日の朝一番のアポイントを必ず入れておくべきでしょう。わたしも営業マンをやつていましたから、月曜日に行く先がないと、憂うつさは痛いほど分かります。朝起きたときから、暗い気分がまん延して、なんとか会社へやってきても、「どこ行こうかなあ…」どこか電話するところ、あつたっけなあ…」とぼんやりしているのがオチです。

その点、月曜日の朝一番からアポが何件か入つていれば、暗い気持ちになつたり、うだうだと考えている暇もなく、待ち合わせの場所へ向かわなければなりません。結果として、それが助走となつて、1週間をうまくスタートできるのです。スタートダッシュのできない人は、ラストスパート



（「上司のルール」より転載）